

不正

んだ

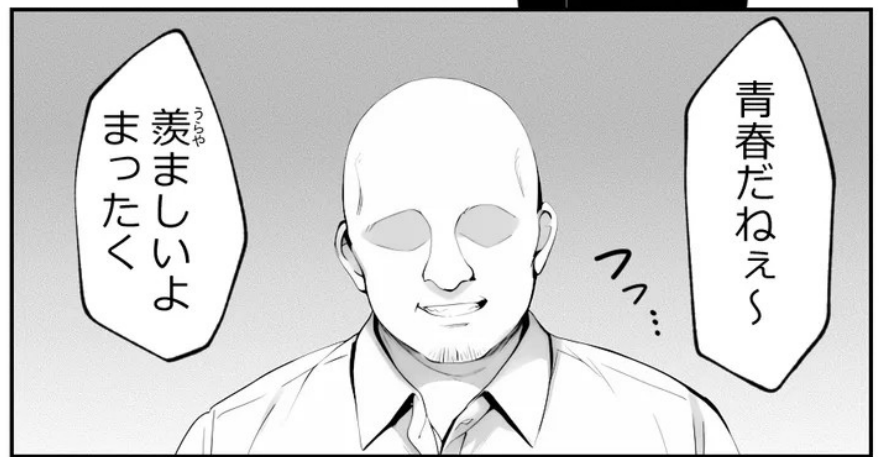
おじさん

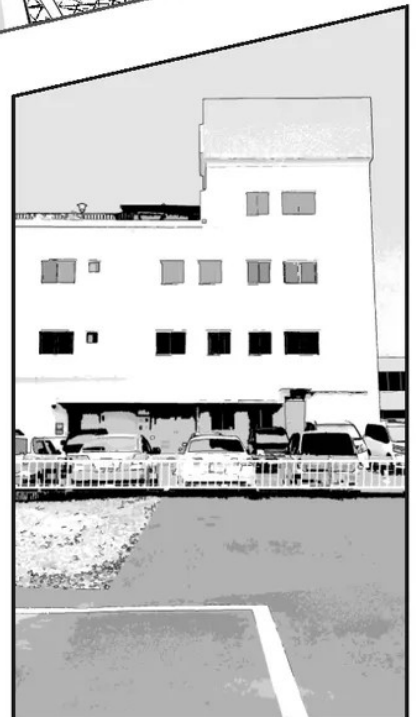
と



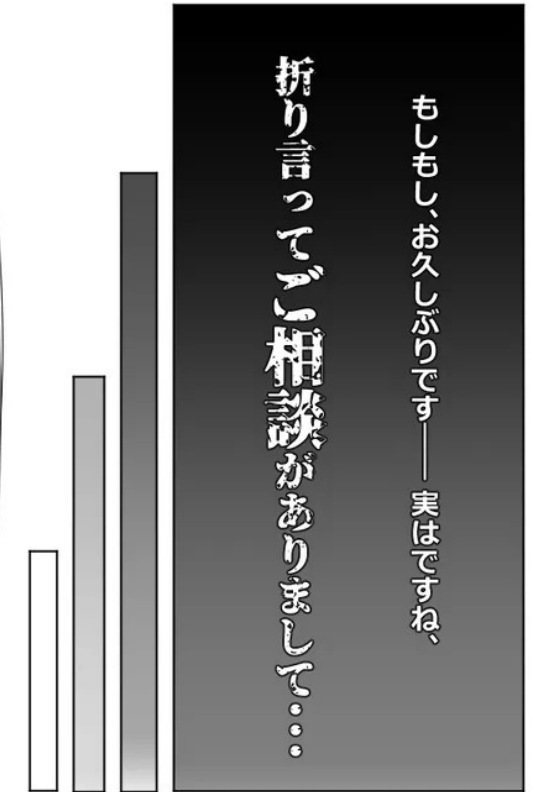
ギヤル

ちゃん











次の日、私とゆうたが聞いたのは
まさに良いニュースと悪いニュースだった

大会までにケガの完治は難しいが、
満足に試合ができる状態にはできるらしい
思いがけない朗報に二人で喜びあう
しかしその時間はすぐに終わった
そのためにはまだこの国で承認されていない
治療法が必要なため、保険が適用されず、
費用が150万かかるということ
そんな大金を用意できるはずもなく、
わずかに見えた希望はあっけなく消えた……

はあ……

バァン

結局、進展なし

150万って……
無茶言わないでよ

試合に出れるって聞いたときの
ゆうた、嬉しそうだったな……

ハァソリ

150万っ!?

なんてな

俺がそう言うように
先生に頼んだんだ

実際の治療費はその十分の一
程度なんだけどな

それは、大金だね……

まあ、そんな都合のいい話
なんて、そうそうないのかなって

……

仕方、ないよね……

一つ提案があるんだけどさ……

治療費、おじさんが立て替えるよるか？

は、はあ？ なんて……？

意味わかんないんだけど

あくまで立て替えるだけで、

ちゃんと返してもらっけど

返すって……私に150万用意

しろってこと？

まあ、学生のあかねちゃんにそれは

難しいよね

だからさ、**身体**で返すのはどう？

身体って……

いいっ……
150万っ……



それじゃあアルバイトして返す？

それとも彼のことは諦める？

が あまよ

ば、ばかじゃないの！？

するわけ無いでしょ、そんなこと！



それは……っ



あかねちゃんが嫌ならいいんだ

まあ、おじさんも無理強いしたいわけじゃない



待って!!



彼のケガもいずれは治るしね、ただ現役最後の大会に出られないってだけで——

変なこと言ってるごめんねおじさん、もう行くよ



まだなにか用があるのかい？

条件があるんだけど

条件？

最後までしなくていいなら、
考えてもいい…さっきのやつ

それはつまり、
本番はなしってことかな？

ほっほっ

ほ、ほん——ッ！？

か
あ

そ、そっよ…っ！
それがダメなら

いいよ、それでも

今は、ね…

取引成立でいいのかな？

いい、わよ…
ちゃんと約束守ってよね

じゃあ、
さっそくしてもらおうかな

はあ…？

…

ほらほら、取引するんでしょ



アッ



えろっ♡ えろっ♡

ちゅっ♡ ちゅっ♡

すこしはやる気になっただけかな

先端にキスをしながら、舌先で亀頭をなぞり、カリ首を刺激する今は余計なことを考えないことが最善だと信じて嫌悪感を押し殺す



んごうっ

大きすぎて口に
入らないんだけど...

少しでも早く終わらせたい
そんな思いから、膨れ上がった亀頭を
啜え、舐めあげていく。

ちゅっ♡ ちゅっ♡

ちゅっ♡ ちゅっ♡



今はフリでも誠意を見せない♡

♡



んごうっ！

グッホッ！！

グッホッ

グイッ

ベルトを外したおじさんがぐいっと腰を突き出し、太いおちんちんが私の口を押し開く呼吸が詰まり、ゴホッとむせてしまう苦しさを目尻に涙が浮かぶ

顎外れたらどうすんのよっ

お願いだから早く終わって...!!

ほらほら、頑張って誠意だよあかねちゃん



いっしょにちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡



舌のざらざらした感触が、敏感な部分を撫で回す
決して上手い訳では無い、しかし必死に射精を促すような
口淫にくっくつとしたものが込み上げてくる

ちゆる、れるる！じゅるるっ！

ちゅるるっ♡
ちゅるるっ♡
ちゅるるっ♡
ちゅるるっ♡
ちゅるるっ♡
ちゅるるっ♡

慣れてきたのか、最初より息苦しさが薄れてくる
彼氏でもない人のものを、よだれがこぼれるのも
構わず舐めしゃぶる

そろそろ出そうだよ、あかねちゃん
制服汚さないよう口に出すよ！

グロツッ！

なっ……このまま出す気なの……？
でも制服汚れるのは困るし……

ちゅっゅ、じゅっゅっ！

グロツッ♡
グロツッ♡
グロツッ♡
グロツッ♡
グロツッ♡
グロツッ♡

高まる射精感のままに腰を突き出し、
ぐぼぐぼと彼女の熱い口内を蹂躞する
そして射精衝動が全身を駆け抜けた時、
限界まで溜まった精液を撃ち放った



こんな…のッ、口に入らな

んぐっ…!



とろろ…!!

くっ…!!

んぐっ…ごぼおっ…!

おちんちんがビクンツ!と震えた瞬間、喉奥に大量の精液が流し込まれる。咄嗟に口を離そうとするが、頭を押さえられ口の中を精液が満たし、息が苦しくなる

腰を突き出し濃厚な白濁液をぶちまけていく。クセで頭を押さえつけてしまったが、あまり機嫌を損ねてはいけないと思い出し、離してやる



ドクドク



むぐっ…
んぐ…

ようやく射精感がおさまってきた。しかし、恨めしそうな目でこちらを見る表情に、嗜虐心が刺激されドブツと白濁液があふれる

まさか、この汚いの飲めとか言わないわよね?

ティッシュ出さないよ…

ああ…精液をどうするか迷っているのか

びゅん

びゅん

ちよつとした出来心から腰を動かし、
ペニスを口から引き抜く――

ちよん！

ティッシュを取り出そうとしたとき、
急におちんちんを引き抜かれ、口からあふれた
大量の精液が制服や下着を汚していく

はー♡

はー♡

おとこ
おとこ

おとこ

おとこ

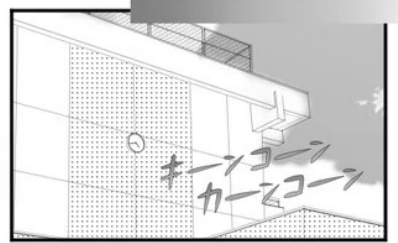
サイテー……

ちゃんとしたんだから、
約束守ってよね……

フツッ

彼の治療が進められる額を払っておくよ
残りはあかねちゃん次第ってことで

そして私とおじさんの
誰にも言えない取引が始まった



それで... 今日はどうすればいいの？

なんか、落ち着いてるね

別に——

どうせしないといけななんだし

ん、面白みに欠けるが 抵抗されるよりはマシか...

じゃあ今日は胸でしてもらおうかな

あつ、上は全部脱いでね



はぁはぁはぁはぁ？

ほらほら、早く終わらせたいでしょ？ それに今日の返済は5万のつもりだよ



あっち向いて...

どうせ見るの？

いぬいぬ——



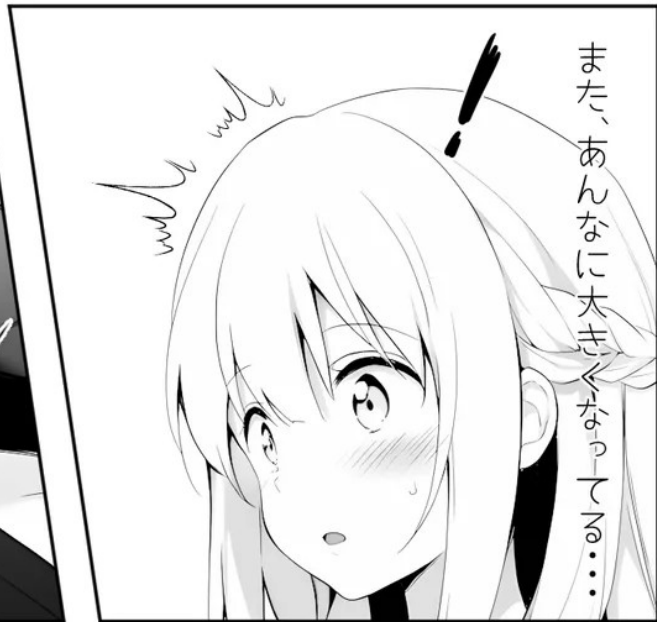
まずはちんぽ
取り出して
もらわないと

私がやるの!?

今日の取引は
もう始まってるよ

!!!

カキカキ



また、あんなに大きくなってるとる...



そんなところでむくれてないで、
こっちきなよ

ぜー!!!
なんか納得いかない...



これでいいの?

びくびくと震える肉棒を柔らかな双丘が包みこんでいく
ヘニスに絡みつくように吸い付くそれは、人肌で温められた
ゼリーのようだ

まずはそのまま
ちんぽを全部挟んで

熱くそそり立ったものの感触が
胸から伝わってくる
取引のためとはいえ、こんなことを
している自分に嫌気が差す



身体を駆け抜ける快感に腰を震わせながら、ひさやひさやと白濁液をぶちまける



限界を迎え、腰を浮かせて肉棒を思いつきり胸の谷間に突き込み射精する。震える肉棒を乳房で締め付け、濃厚な精液をポンプのように吐き出していく



とろんとした表情の彼女と目が合う瞬間ソクリとした感覚が走り、尿道に残っていた精液がどぶりとあふれる





治療はちゃんと進んでる？

大丈夫だよ
先生もいい人そうだし

よかった…

でも、あかねさ
ちゃんと聞いてなかったけど
結局、治療費どうなったの？

えっ！？

その…ちゃんと調べたら
今回みたいなときに適用される
保険があったんだ
だ、だから心配しないで



ゆうたも頑張ってるんだから
私も頑張らないと

大丈夫…やり遂げるのよ、私



あぶない、あぶない
取引のことは絶対に
黙っておかないと



さすがに、おじさんも
そこはうまく
ごまかしてるのかな

とにかく――

数日後

見るからに不機嫌だね...

むすっ...

今日はそこを立っただけでいいよ

あと、後ろ向いてくれるかな？

なにされるか不安なんだけど...

これでいいの...？

ガバッ

きゃっ！いきなりなにすんツ——んんう！

あまっ♡

あっ♡

おまっ♡

おにん♡

はまっ♡

はまっ♡

豊かに実った乳房を揉み、手の平を滑らせていく

なんとしても認めたくなかったが、乳房をすくい上げるように愛撫されるたび、胸の付け根から乳首に向かって快感が走る。

前のときも思ったけど、あかねちゃん、感度いいよね

んっ♡

知らないわよ！
そんな...とツ——！





おじさんの指が胸をすくい上げるように撫で上げるたび、じんじんと乳首が熱くなる頭がぼんやりするような快感が身体を包み込む

円を描くようにやさしく乳房を揉みほぐしていくふるふると身体を震わせる彼女に気を良くしながら少しずつ動きを大きく、搾り上げるように揉み込む

はあっ……ん、んっ

もみ

もみ

はあっ♡
はあっ♡
はあっ♡

はあっ♡
はあっ♡
はあっ♡



はあっ♡

もみもみ

もみもみ



搾り上げるように揉みこまれるたびに全身が火照り、じりじりとした疼きが大きくなっていく

はあっ♡
はあっ♡
はあっ♡



そんな……んっ……あっ……

じりじりと気持ちいいよね？

はあっ♡
はあっ♡
はあっ♡

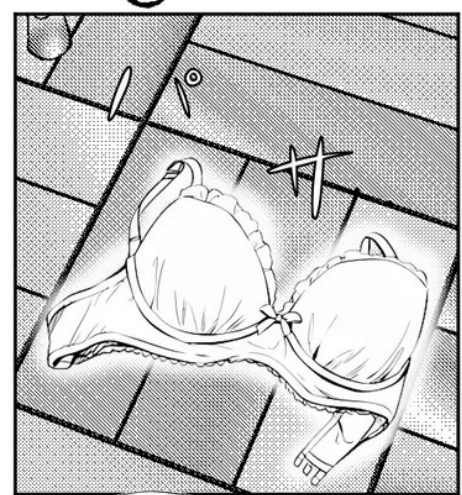


必死に耐えていたが、それも限界だったおじさんに気持ちよくされてるなんて決して認めたくなかったのに、口からは熱い吐息が漏れ出していた

まったく、本当にいい乳してやがる

慣れた手つきで
ブラのホックを外す

あっ♡



直に乳首をくりくりと摘まみ、擦り、撫でる
綺麗なピンク色のそれを欲望のままに弄っていく



はあっはあっ♡

はっ♡

はっ♡

あっ♡

はっ♡

こんなエロい乳は俺が
舐めてやらないとな

下から乳肉を掬い上げるように愛撫してやると
ガクガクと身体を震わせ、快楽に身もたえている



あっ♡
んんん♡

んんん♡

ガクッ
ガクッ

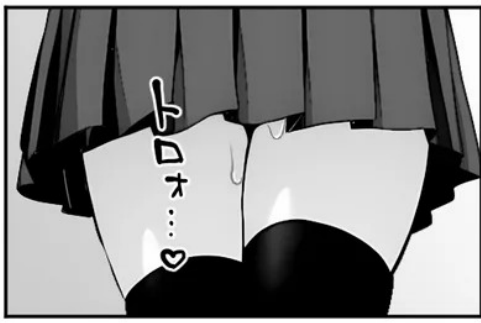
ふっ

はっ

あっ♡
んんん♡
あっ♡

ゾクゾクとした感覚が全身を駆け抜けていき
蕩けるような刺激に身体中から力が抜ける

はっ

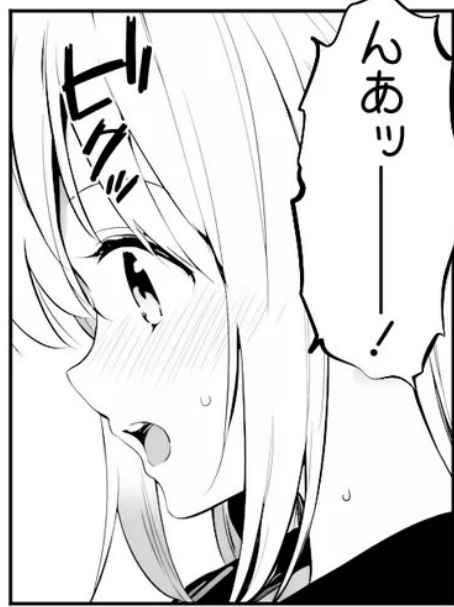


快感に足元がふらつき、思わず机に手をついてしまう



いい具合に出来上がってきたけど、お楽しみはこれからだよ

後ろから忍び寄り熱くなっているであろう秘部に手を伸ばす





ククッ...
モキッ♡
モみモみ
なんで...あうっ
そう、なるのよ——んっ♡!

それじゃあ、同時にして欲しいってこと？
意外と欲張りだねえ

そんなとこ、勝手に
触らないでよ...っ!

やっぱりこっちのほうが
好きなのかな？

そういう、んっ♡
意味じゃ——...

熱くぬがるんだ秘裂を刺激して、く
柔肉に沈み込んだ指を割れ目に沿って
上下にはるこ、あひの愛液が漏れ出っ♡

自分とはまったく違う、男の「っ♡」とした
指先が大事な場所を撫であげる
直接触れられる刺激に背筋がゾクリとしてしまう

ひあっ、くっ...♡
だめ、やめて——んっ♡!

はッ
そんな激しくッ……んあぁっ！



はぁっ♡

はぁっ♡
はぁっ♡



はぁ♡

はぁ♡



おちんちんが力強く反り返り、私の熱く火照ったあそこを抉るように擦ってくる
ビクビクと勝手に腰は震え、愛液がこぼれてしまう

はぁ♡
はぁ♡



んっ...あっ!!

何か来ちゃうーッ!

きゅつと締まった太ももが圧迫する中、愛液と我慢汁にまみれたヘニスを前後させるカリ首がクリトリスを擦るたび、太ももの締め付けが強まり、強烈な快感に肉棒がぐくくと膨張していく



おちんちんが射精で跳ね上がり、クリトリスをぐりりと擦り上げる頭の中で火花が爆ぜるような快感に何も考えられなくなっていく



むちむちの太ももに締め付けられるたびそれに押し出されるようにビュルビュルと勢いよく精液を解き放っていく



はー♡

もう...身体に力入らない

この様子なりどころどころ頃合いかもな
次に会ったときが楽しみになってきたよ

はー♡
はー♡

はー♡

はー♡

今日のことが頭から離れない

今、思い出しても恥ずかしい
あんな声だしちゃうなんて

私…感じちゃってた
好きでもないおじさん相手に

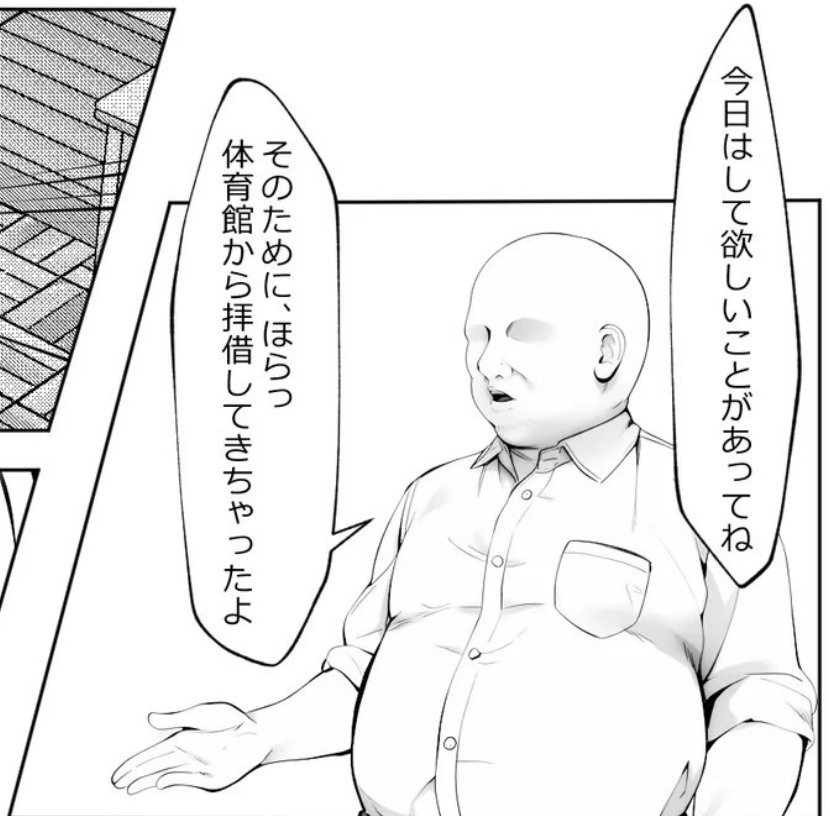
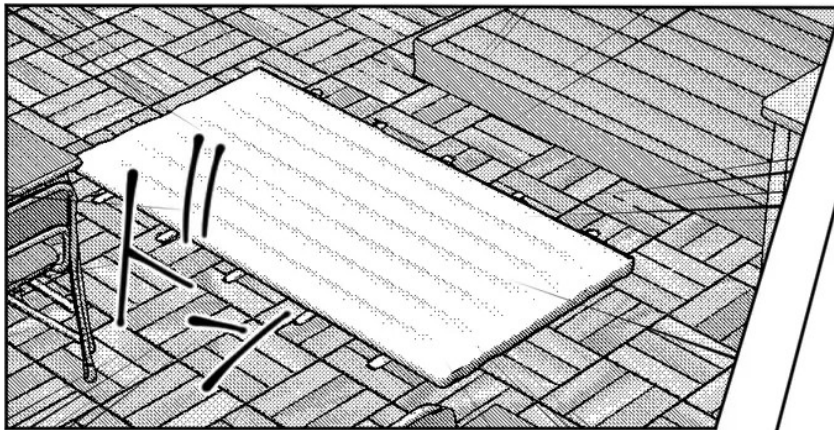
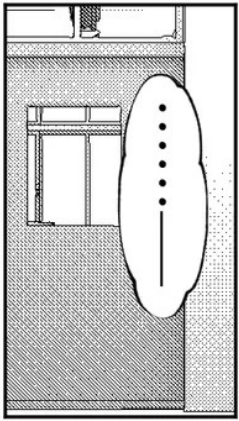
ゆったとしたときでも
あんなことなかったのに…

あつたはずの嫌悪感が
消えつつあるのを自覚し
もやもやした気分になる

えっちなせてあげたら
もっと早く返済できるのかな…

…って！

何考えてんのよ、私はッ!!

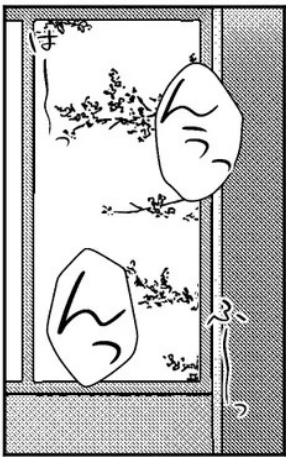


それで――

これをやらせるために
マットなんて用意したわけ？

そうなるね
あつ、スカートはちゃんと持ってたね

ダメよ、この程度で怒っては
キリがないわ



この眺め、なかなか悪くないな

あのさあ……腕、疲れるんだけど

おーおー

それじゃあ、いつそスカート脱いじゃおっか



結局、そいつなののお……

はっ

ふっ



私のもやもやした気持ちとは逆に、身体は熱くなっていきエッチな汁がこぼれだす



これで...いいんでしょう？

下だけ脱がすつてのも妙なエロさがあったいいな

うう...なんでこんなこと



じつはこの取引を早く終わらせる方法があるんだけど



別に、そんなんじゃないから...早く...んっ、終わらせてください

なんとというか、あかねちゃんも積極的になってきたよね



うっ、それは



ただ、エッチさせてくれればいだけだよ

えっ？あるの！？

ズッ



ホントに、早く終わるの……？

そうだねえ……もしさせてくれるなら今日の返済額、30万でもいいよ

そんなに！？

ズッ

ちゃんとゴムも着けるし、どうかな？

……



もう、入れていいから……



は〜

きゅん

か〜あ

きゅん…♡

ゴム、ちゃんと着けてよね



カチヤッ
カチヤッ

たまらず邪魔なスポンを脱ぎ捨て、ゴムを着ける

ふふ、準備はいいかな？

いいからー早くしなさいよ…

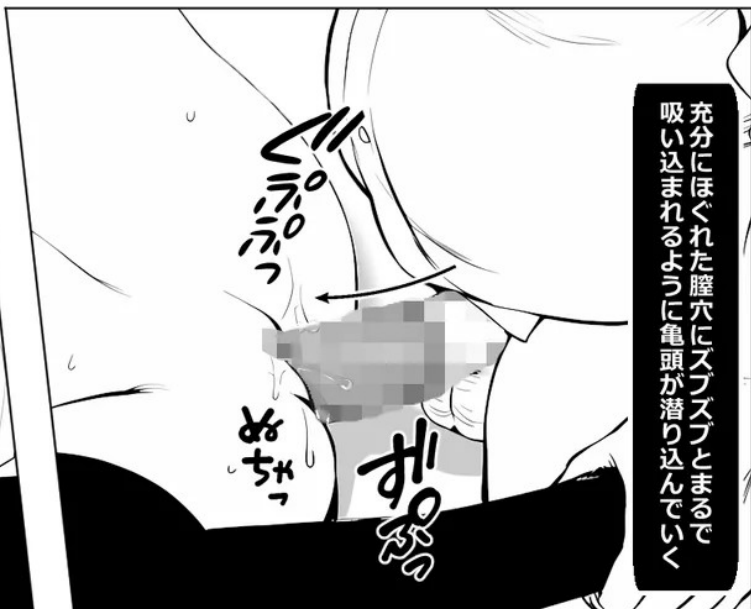
えっちを許してしまうというのに私の心臓はドキドキと高鳴る身体が快感を求めていることを認めざるをえなかった

この瞬間がついにきた、やはり自分から股を開かせてやった達成感は格別だ肉棒はすでにち切れんばかりに膨らみ濡れた蜜壺を掻き回すのを待っている

きゅん
きゅん



大きな亀頭が入口をこじ開け、そのまま私の膣内を掻き分けながら奥へ奥へと進んでいく



十分にほぐれた膣穴にスプスプとまるで吸い込まれるように亀頭が潜り込んでいく



なにっ？これ！？お腹の中、全部擦られてるみたいッ！



くっ、まるで待っていたかのようにちんこに食いついてきやがるっ！



ふっ！



膣内がヒクヒクと動いて締めつけてくる温かく狭い肉壺がうねるように吸い付き巨大なペニスをくわえ込む

待って...もう入らな...ッ！

子宮口を軽く押すと
彼女の全身がビクつき
ギョツと蜜壺が収縮する



——んっ！
今、胸触られたら……！



ほら、身体力を抜いて——
そうすればもっと気持ちよくなれるよ

そんなこと……
言われてもッ——

はっ！
ハッ



ああっ！ そんな激しく……っ！

上は制服を着てるからこそ
生徒を犯してるっていう感覚がいいな

まあっ！
ハッ



それ...はっ、あああ!



でも、気持ちいいんだよね?

あっ...やだ
恥ずかしいッ—!



彼女の胎内を巨大な逸物で容赦なく貫いていく
激しさに驚いた膣肉がギューツときつく窄んだ



この、感じ...!
私、またイきとっ—ッ!

勢いよく膣底を穿たれるたび快感の痺れが全身を駆け巡る必死に声を抑えようとするが挿挿は更に激しさを増す



ふうっ、ふうっ、そのまんま出すよあかねちゃん!

バチバチと頭の中で火花が散った
身体の芯から激流のような快樂が
押し寄せ、息が詰まるような絶頂を迎える

膣道のざらついた天井部分をカリでゴリッと
削り上げた瞬間、彼女の全身が跳ね上がる
強烈な締めつけのなか更に深く肉棒を押し込む

おおっ……JENE……

しかし、そんな私の考えとは反対に
おじさんからの連絡はなかなか来なかった



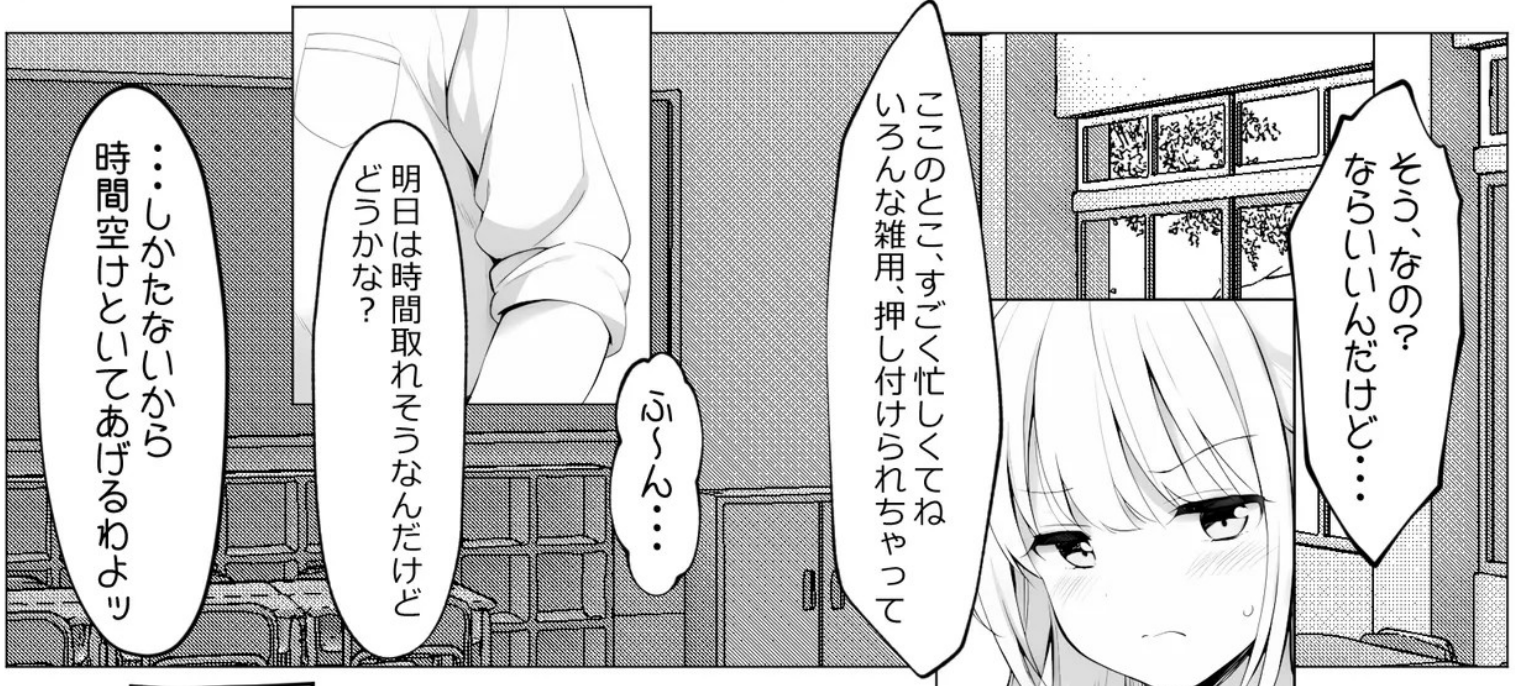


え？ちゃんと治療費は払ってるけど？

取引はどうなったのよ！まさか、途中でやめたとか言わないわよね？



びっくりした、どうしたんだい？



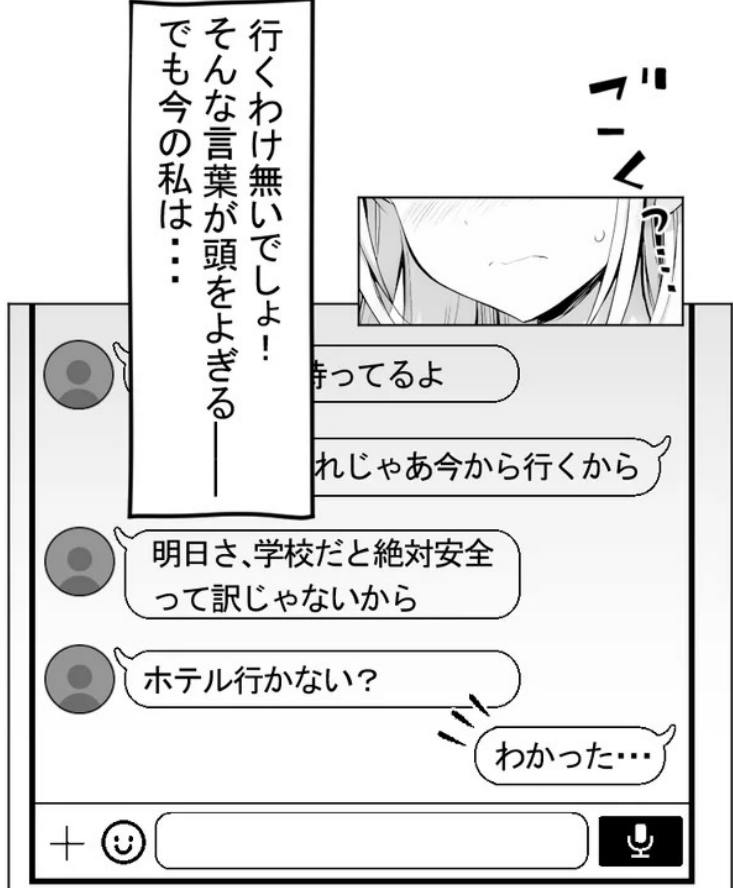
そう、なの？ならいいんだけど...

このところ、すごく忙しくてね。いろんな雑用、押し付けられちゃって

ふん...

明日は時間取れそうなんだけどどうか？

...しかたないから時間空けといてあげるわよ



行くわけ無いでしょ！そんな言葉が頭をよぎる...でも今の私は...

待ってるよ

それじゃあ今から行くから

明日さ、学校だと絶対安全って訳じゃないから

ホテル行かない？

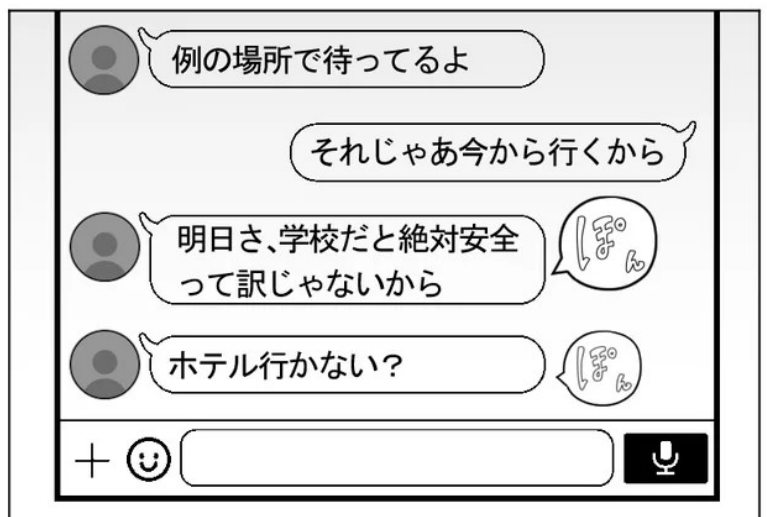
わかった...



その日の夜

明日 やっと...

こんな時間に通知って誰よ？



例の場所で待ってるよ

それじゃあ今から行くから

明日さ、学校だと絶対安全って訳じゃないから

ホテル行かない？



ガキヤ

ふん
意外と普通ね

もしかして、回転するベッド
あると思った？

なっ！ち、違うわよ！



そっただけど……！

はあく、やっぱりあかねちゃんの
おっぱいは素晴らしいね



あゝ
むにゅ♡

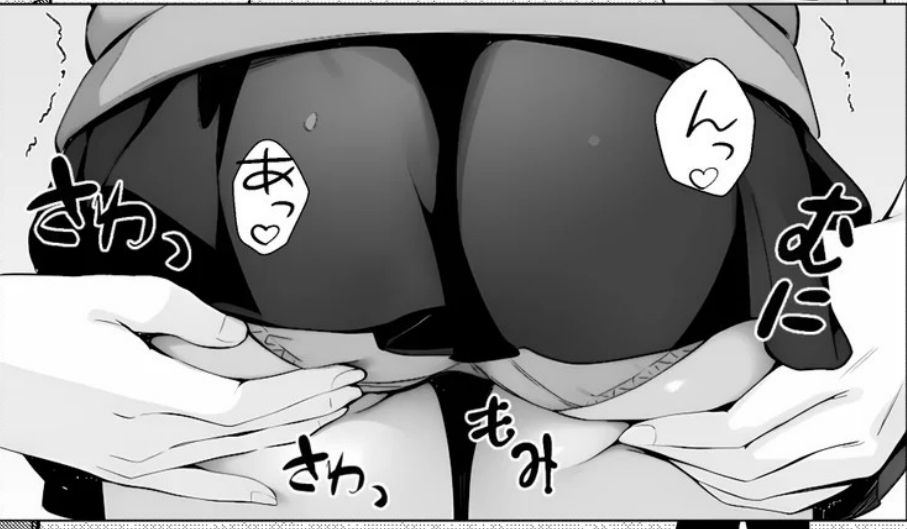
少し触られただけなのに……
身体が、敏感になっちゃってる！



あゝ♡

はゝ♡

ちよっとっ！その……
シャワーとかはっ！？





久しぶりすぎて
おじさん、我慢できないよ

あかねちゃんは違うのかな？

はっ♡

私は、そんなんじゃないっ♡
んあぁっ、そんな、激しくしないでっ♡

むにむに

タッ

はっ♡



おじさんが息を荒げながら胸を揉んでくる
驚いたのはこんなにも激しく求められることが
イヤじゃないと思ってる自分があることだった

たっ♡

もう…仕方ないんだがっ

たっ♡

たっ♡

たっ♡

クルル♡



乳首も敏感だったよね

あま♡

おっお

あま♡

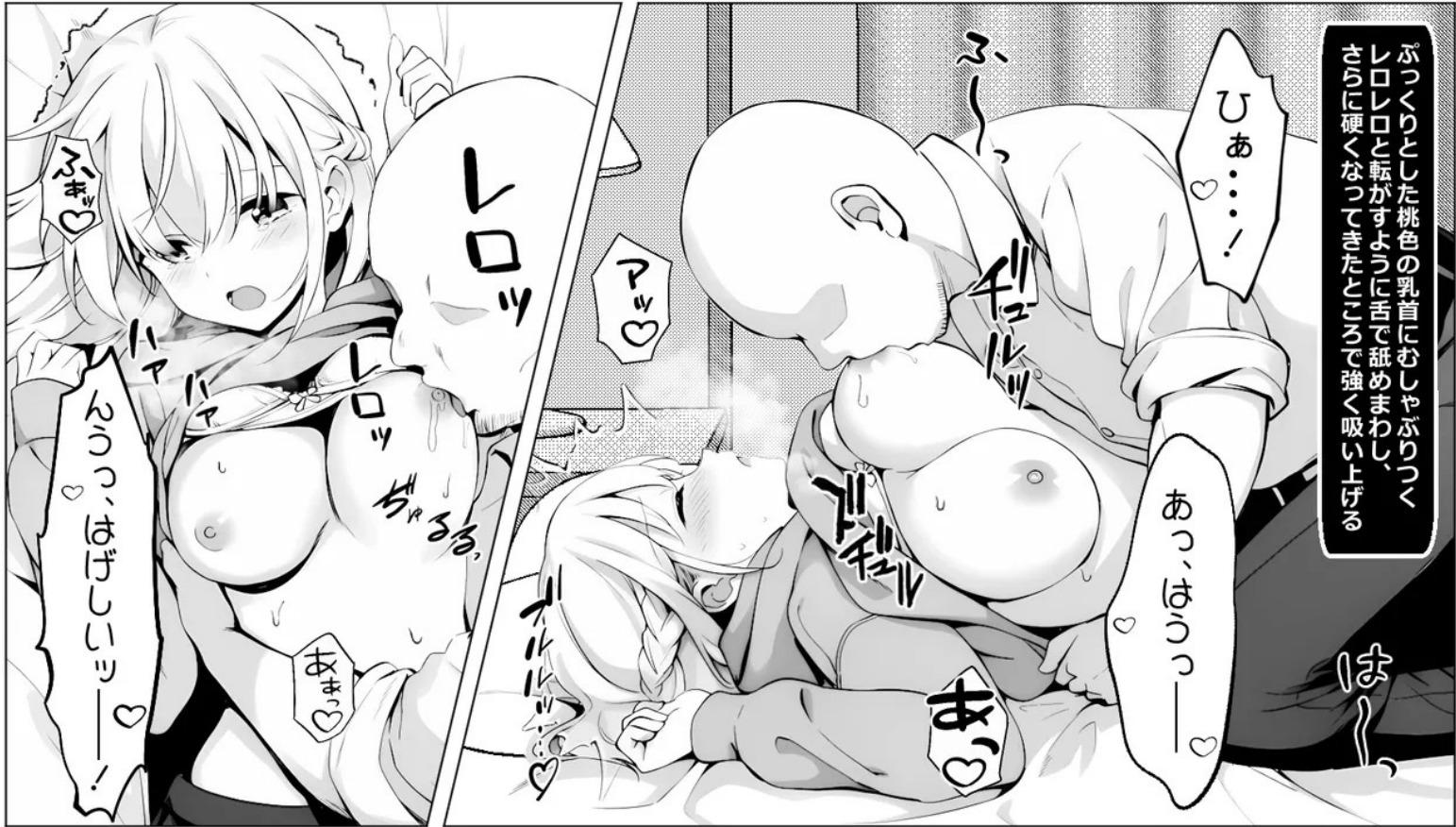


あっ…!!

ヒッ
グッ

普段ならじっくり責めるところだが
目の前のメスを貪りたい衝動に突き動かされる

ぶっくりとした桃色の乳首にむしゃぶりつく
レロレロと舌がすよよに舌で舐めまわし、
さらに硬くなってきたところまで強く吸い上げる



ひあ……!

あっ、ほっ……

ふっ

レロレロ

あ、あ

あ、あ

あ、あ

レロレロ

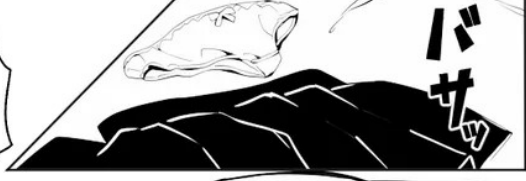
あ、あ

あ、あ

あ、あ

あ、あ

は



バサッ

は、あ

……ああ、やっ……
んっ……

は

ん

あ、あ

あ、あ

は

あ、あ

あ、あ

あ、あ

おじさんの舌が大切な部分をもみほぐすように蠢く
下半身から力が抜けていくような刺激に声がもれ、
腰全体に痺れるような波紋が広がる



あ、あ

あ、あ

ああ、恥ずかしいのに
気持ちいい……



今日は後ろからしたいんだけど
どうかな？

…うん



すっかりほぐれて
これなら問題なさそうだな



そろそろいいかな？



心臓がドクドクとうるさい
30万返済のことが頭をよぎるが、
もうどうでもよくなっていた



こうして墮ちていく女を
見るのがたまんねえんだよなあ

全部、取引が終わるまでまだか…

ちよっとぐらいい
気持ちよくなってもいいよね



秘裂から漏れ出した蜜液を肉棒に塗りたくっていく
そのたびに震える彼女の肢体に思わず笑みがこぼれる

ずぶずぶと肉壁を掻き分けながら亀頭が埋まってく肉感的な桃尻をかつちりと掴み、更に奥へとヘニスを押し込む

待っていたように締め付けてきやがる
本当にエッチになったね、あかねちゃん

時間をかけた甲斐があるってもんだな

あー♡

ニムニム♡

はー♡

ぐうっ、あああああ
入って、きたあ...

ニムニム♡

あー♡



おっきなおちんちんで子宮を突かれると
足下から頭のいただきまで甘い刺激が走る
私の敏感な場所を的確に擦り上げられ
激流のような快感に流されるほかなかった

ああッ、ああんッ！

ほっ♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

後ろからされるの...
気持ちいいッ！

あー♡

可愛いよ、あかねちゃん
もっとおじさんので感じていいんだよ

んあああっ！
激しい——ッ！

奥ばっかり、そんなに……あうっ！
突かない——ふああああ！



このままガン突きして、イかせてもいいが
今日はもっと楽しむつもりなんだよな

だめ……感じおかわり
もう、きちゃっ——ッ！





な、なに？

生でして見ない？



あのね...

えっ...
なんでやめちゃうの...
はー

アッ

アッ



それなら
大丈夫、なのかな...

そう...なの？

おじさん、アフターピル
持ってるんだよね



がはっ

どきちゃったら
びびりますのよ！

んなッ！？

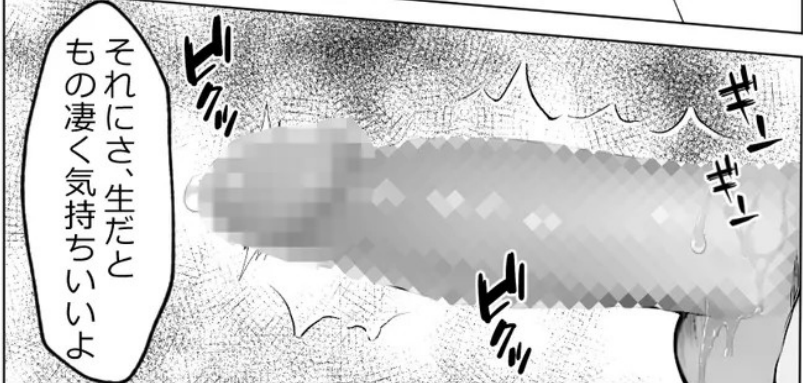
ドキッ



そうしたら
自分で挿れてごらん

...アッ

ほら、おじさんの上に
乗っかって



それにさ、生だと
もの凄く気持ちいいよ

アッ

アッ



「うー、おっ、きすぎでしょ……」

あとは腰を下ろすだけだよ



おちんちんの先端がぬるりと私の入口を広げる
初めて味わう、生の粘膜同士が擦れ合う刺激に
身体中がぶわっと熱を帯びる



ホントに……
生で挿入っっちゃーっ！



快感に腰が抜け、ドチユンと亀頭が膣奥を叩いた瞬間
バチンと頭の中で火花が散りあつけなく絶頂を迎える
まるで全身が快楽の稲妻に貫かれたようだった



絶頂を迎えた膣内はグイグイ締め付け
さらに無数の柔壁が肉棒に殺到する
汗ばんだ肌、ふくよかな胸、熱い吐息
とろける蜜壺、すべてが昂奮を煽る

今日はじっくりやる
必要ないよな



はあっ、はあっ——！

なに…これ？
ゴムないだけで
こんなに違うの？

はー

はー



あぐうう——！ 待って、
いったばかりだった—— ああ、ああっ！

カチャッ！！

ズルズル！！



はあ

はあ



気持ちいいっ！

あま

気持ちいいッ！

上下だけでなく、大きな円を描くように腰を動かされ
どろどろに蕩けた膣内をかき混ぜられる



っああ！奥っ、当たってるっ！
こんなの、おかしくッ—— ああッ！！

カチャッ

カチャッ

カチャッ

カチャッ

カチャッ

それから、まるで動物のように互いの身体を求めあった



ああ……気持ちいいー！

舌が絡め合うと何も考えられなくなってくる
身体はますます熱っぽくなり、おちんちんに
媚びるようにぎゅっぎゅっ締め上げてしまっ

愛液と精液が混ざり合った汁を垂れ流しながら
乳房を鷺掴みにし、蜜壺を容赦なく蹂躪してぐく



んっ、おじさんのキス
あつっ、優っ……

キスってこんなに
気持ちいいんだ……
はあ
はあ



でもこれも、
あと少して終わる……

今になって
すごい罪悪感が……



はあ——

シャ
……



かチャッ



あと彼のケガ、早く治るといいね

今日はお疲れ様
返済もあと3分の1だから頑張つてね

……うん



それじゃあ、私帰るから——



あかねちゃん——

まだまだ楽しめそうだね

End



君の身体は俺とのセックスを
覚えちまったからなあ

……

返済が終わったとして
すべて丸く収まるかな？



おたん

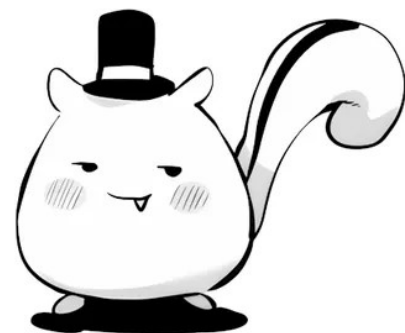
あとがき

心機一転、再スタートからの初漫画作品いかがでしたでしょうか？

まだまだ試行錯誤中ですが、
少しでも楽しんでいただけたら嬉しいです。

精神的に攻めてくるおじさんって面白そう・・・という思いつきから
考え始め、流行りの催眠などは使わず、今回はじめじめヒロインが
追い詰められる——そんな展開になりました。

ではでは、また次の作品で♪♪



マスコットのなやつ(仮)